

工事名：城南幹線配水管布設替（第1工区）工事

質問	回答
<p>●工期について                      本工事は先に発注された城南幹線防護管布設（第1工区）工事の影響を受ける工事として、発注された工事ですが防護管布設の工事が終了しなければ本工事を着手することが出来ないのではないのでしょうか。                      だとすれば、本工事と防護管布設工事の工期終了日が1週間程の差しかありません。                      又、防護管布設工事の進捗により工期に本工事でも影響を受けると考えられますがその場合、工期等を考慮して頂けるのですか。</p>	<p>開削区間を除く立坑内及び防護管内の配管については、別に発注している城南幹線防護管布設（第1工区）工事により防護管が布設された後でなければ施工出来ません。                      なお、防護管布設工事については現場施工10月15日までに完了することとしておりますが、防護管布設工事において設計と現場に差異が生じ、本工事の工程に影響が発生する場合は、受注者と協議します。</p>
<p>●資材納期について                      φ400DIPGX形直管及びφ400配管引込用具の納期について、通常は2か月程度の納期ですがメーカーの盆休暇がある為、通常よりも日数がかかるとの回答を資材販売店から受けております。                      通常の場合でも2か月程度かかるとなると工期に無理があると思われませんがどのようにお考えですか。                      資材発注はおおよそで入札→落札業者審査→落札決定→契約→監督員との打合せ・協議→資材発注の手順を経て行われると思いますがその場合、資材発注の時期は8月のメーカーの盆休暇明けになる可能性があり工期終了日の数日前に資材が納入されるという事態になりかねませんがどのようにお考えですか。                      本工事が城南幹線防護管布設（第1工区）工事の工期等に影響を与えることも考えられますがどのようにお考えですか。</p>	<p>管材納期については、メーカーから聞き取りを行っており2か月程度を見込んでおります。                      資材発注については、受注者との契約後に速やかに打合せ・協議→資材発注を行うことで工期内に施工可能と想定していることから、本工事が城南幹線防護管布設（第1工区）工事の工期に影響を及ぼすことはないと考えております。</p>
<p>●資材について                      立坑内管布設の甲切管の箇所にはライナーが必要と思われませんが明記されておられません。                      どのようにお考えですか。</p>	<p>立坑管布設の甲切管箇所については、本工事での配管後に城南幹線防護管布設（第1工区）工事によりCo巻き立てを行うことから、ライナーは不要です。</p>
<p>●仮設備工について                      ・どのような引込設備を作成するのでしょうか。                      ・矢板をどのように使用するのでしょうか。                      ・内訳に溶接工、電工とありますがどこでどのように作業をするのでしょうか。                      上記の事柄が不明な為、積算することが出来ないのですがどのように考えたら良いのでしょうか。</p>	<p>引込設備については、ウインチを地上に設置することを想定しています。                      矢板については、開削区間において掘削深が1.5m以上となる箇所の土留めとして設計計上しております。                      溶接工、電工については、立坑内の配管に取り付けたワイヤーを地上のウインチにより引き込む際に、水平に引き込むためのガイドを溶接する人工を設計計上しております。</p>
<p>●協議、指示、変更について                      以上の質問事項にみられるように設計と実際の施工状況（工法・工期）に差異が生じてくると思われませんが、その都度協議、指示、変更等をしていただけるのでしょうか</p>	<p>現時点では上記の回答のとおり設計と施工に差異はないと考えておりますが、設計と施工に差異が生じた場合は、その都度受注者と協議します。</p>